

東御市

市議会だより

第55号
2017.11.1



事業評価し次の予算に反映へ

議会Q&A

決算審査を充実させました

第3回定例会/決算審査質疑の概要	2～3
常任委員会レポート（決算審査について）	4～5
決算特別委員会報告・賛成討論	6
決算審査報告	7
総括質疑	
（補正予算・湯の丸仮設プールのゆくえ）	8～9
市政を問う（11人の議員が質問）	10～15
提出案件の審議結果/話題を追って	16～17

特集「議会Q&A」	18～19
若者フォーカス	
「東御市消防団第1分団のみなさん」	20

表紙の写真

ぼくたち忍者だ！ヤァー！

和保育園運動会 年長児ダンス

一般会計・特別会計等

決算を認定

一般会計

歳入 160億6,522万円
歳出 154億2,736万円
翌年度へ繰越すべき財源 1億6,752万円
実質収支 4億7,035万円

主な事業

- 公営住宅建設、道路維持管理
- 生ごみリサイクル施設建設
- 実践型雇用創造事業
- 防災強化事業、雨水排水路整備
- ため池耐震性調査・改修
- 耕作放棄地の再生
- スポーツツーリズム事業
- 湯の丸高原施設整備推進事業

一般会計質疑

市税

問 市税の中の法人部門で補正が増額2億3600万円となっているが、増額になった要因は。

答 市外に本社がある企業が当市に本社移転をし、これに伴い設備等法人資産

の移転増加が発生したため28年度に限り法人市税が増額になった。

湯の丸高原荘

問 湯の丸高原荘の維持管理費が28年に減額しているのはどういう事情か。

答 湯の丸高原荘の維持管理については信州東御市振興公社に委託をしているが、水道光熱費が110万円ほど減少した。また27年度は修繕費等が発生していたが、28年度は修繕費等がなかったため、減額となった。

9月定例市議会が9月1日から29日までの29日間の会期で開かれ、市提出の決算、一般会計補正予算など19案件を審査しました。同定例会は「決算議会」と呼ばれ、平成28年度一般会計、特別会計、公営企業会計を審査しました。議会活性化の取り組みの具体化としてチェック機能と提案機能の強化をはかり、主要事業の評価をおこない、それぞれの附帯意見をつけました（関連記事4～7ページ）。また補正予算では、湯の丸高地トレーニング用仮設プール建設の財源を巡って大きな論議となりました（詳しくは8～9ページ）。

小規模土木事業費

問 小規模土木事業費で、工事の実施数が、全区67区中24区で26件となっているが、どのように判断しているのか。

答 6月にヒアリングを行い、10月ごろ全区の立ち会いをして、その中で優先順位をつけて実施している。

問 小規模土木事業費の予算を拡充することはできないか。

答 本年度も約14億円の基金を取り崩して予算編成をしているため、もう数年は厳しい状態にある。

園児の状況

問 未満児保育の現状は。

答 28年4月の3歳未満児に比べ、29年4月では3歳未満児は14名増加している。

問 第3子以降の保育料の無料化による現状はどうか。

答 第3子以降の無料化により、4月1日現在で125名が対象になっている。

問 保育士不足に対応するために、保育士（非正規）の処遇改善が必要ではないか。

答 29年度より臨時職員の日給は200円増（8900円）になった。勤続年ごとに100円増。4月に8名増で年度途中で3名増やしたがさらに各保育

不登校対策

問 不登校対策対策事業の状況はどうか。

答 不登校の児童生徒については、小学校では落ち着いた状況にあり、中学校では微増傾向にある。

ごみの適正処理等について

問 現在、生ごみの堆肥化が進んでいるが、これに伴い電気式生ごみ処理機とのからみは。

答 今後も電気式処理機を継続し、生ごみ処理施設との両輪で進めていく。

病院事業会計

歳入 18億9,654万円
歳出 18億5,032万円

病院事業会計の質疑

問 市民病院は、今後他の医療機関とどのように連携していくのか。

答 鹿教湯病院との連携については回復期や療養的な面で地理的特性を活かしていく。小諸厚生病院は新たに浅間南麓医療センターとなり、急性期を担うことを狙っている。その受け皿として連携を深めていき

たい。

問 市民病院という名の通り、市民の病院という立ち位置の確立をして欲しいが。

答 外来は市民からの信頼を高めているところであり、市民の期待に添えるよう対応することが重要。地道に信頼を得られるよう努力していく。

附帯意見

新公立改革プランに基づく再編ネットワーク化では、今後連携協議により事前調整が整った病院との検討を進めるにあたり、プライマリーケアの中核病院としてさらに一丸となって努力されたい。

病院事業会計



国保特別会計

歳入 40億78万円
歳出 37億376万円

国保の質疑

問 国保の特定健診の目標値50%に向けた対応策は（現在の受診率は44～45%となっているが）

答 地域ごとに受診率が違うため、来受診者への丁寧な対応や、リピーター率向上のためのJAとの共催による集団検診の継続実施、また検診バス及び医療機関

と連携した取り組みを行っていく。



介護保険特別会計

歳入 26億9,653万円
歳出 25億9,003万円

介護保険の質疑

問 地域包括ケア推進会議の開催目標が12回となっているが、実際は開催されなかった。理由と今後の課題は。

答 個別のケア会議はケースごとに実施しているが、連携となると思うように進んでいない。

問 モデル地区の選定も困難と思われるが、どのように進めていくか。

答 いくつかの地区に話を持っていくが進まない。地域での機運のみでなく行政からも働きかけていく必要性は感じている。



常任委員会レポート



社会 文教

両委員会で平成28年度決算を審査 事業施策評価を中心に活発な議論を展開

総務 産業

議会活性化調査研究委員会からの提案に基づき、今決算審議より決算額の一つひとつを吟味するのではなく、その事業の目的・実績・課題を審査するという事業評価の手法を取り入れて行いました。市より重点事業の決算概要をまとめた資料の提出を求め、昨年まで4日間の審査日程を6日間とし、うち一日を委員のみで重点施策・事業の決算を詳細に審査いたしました。

① 地域包括ケアシステムの
主な審査の概要
社会文教常任委員会は9月15日・19日・20日・21日、22日そして25日の6日間にわたって一般会計決算の予備審査を行い、4つの特別会計決算と病院事業会計決算、東御市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例改正案を原案通り可決および認定しました。



② アレチウリ・オオハンゴンソウ・オオキンケイギク等特定外来植物の繁殖により、在来植生保護のための一層の取り組み強化が求められています。生活環境課では分布調査を行い図面化し、今後分布図を基に区へどう働きかけをするか、生態系を守るための試験的な検討に入ったそうです。関係地域住民との協力を広げ丁寧な情報提供や駆除へ

構築が喫緊の課題となっています。国では今後介護が必要となっても在宅で暮らすことに重きを置き、そのための地域包括体制づくり、医療・介護との連携、地域での基盤づくりなどに力を注いでいかなければなりません。しかし、地域にも課題があり行政の思うようには進まない現状のようです。健康保持・増進と医療費抑制のため受診率向上を各区等と連携し対策を進めて欲しいという意見がありました。

④ 切れ目のない支援は、教育・子育て・健康・保健・福祉と連携し取り組みられています。また障がい者基本法の改定により共に学ぶ仕組みや個人に必要な合理的配慮が提供されるようになり、いわゆるインクルーシブ教育

③ 未満児保育の需要が増加し、保育士確保に向けた取り組みが直近の課題です。そのためには処遇改善や労働環境の整備が不可欠です。公立保育園では臨時職員日給の引き上げ、経験年数による加算も加え労働体系を確立する中で、保育士確保に努めて欲しいとの意見がありました。



をより推進するためには学校職員とともに保護者や地域住民への周知理解が不可欠であるという意見がありました。
現地調査
委員会審査のあと実施された現地調査では助産所とうみ、建設中の生ごみリサイクル施設、改修中の滋野小学校トイレの3か所を確認しました。

① 道路等の社会資本の整備関係では、大型事業の県東深井線道路整備事業が完了間近となるが、これから橋梁等の長寿命化修繕計画が進む中、社会資本整備総合交付金の減額も予想され一層的確な優先順位での計画実行を図ることが必要となります。その一方、大型施策の事業により、市民生活の



② 農業・商工観光関係では、各事業の予算執行の状況、事業の進捗状況とその効果、補助金が適切に使われたかを審査し、特に「ため池」の耐震化工事関係では、調査委託料の内容と全体の進捗状況、県の補助金が付きにくいため池の今後について時間を割き審査しました。また、農業振興については、ワイン産業の振興に合わせて、地域に根付いて長年生産されてきた市内産の多くの作物にも目を向け、それらの6次化や販路拡大等の支援も目に見える形で行って欲しいと求めました。その他、商工観光関係では、効果の上がる補助金、交付金の運用と、交流人口の増加策と地域観光振興策として重要となるDMOが効果を創出でき

るように市の協力、支援を求めました。③ 消防関連の審査では、消防施設や、消防団の備品整備品の充実を求めました。また消防団の組織改編については地元区と慎重に意見を交わすようにとの意見が出ました。④ 湯の丸高原施設整備事業に関わる審査については、28年度決算審査の他に、「東御市湯の丸高原スポーツ交流施設条例」と「東御市湯の丸センター条例の一部改正する条例」の2条例を審査しました。整備については財源確



現地調査
市道県・東深井線道路は、11月初旬完成予定です。御堂ワイン用ブドウ園場は順調に整備が進んでいます。湯の丸高原施設整備事業の400メートルトラック等は11月の完成予定です。

保を前提に、健全財政を確保した上で事業を進めるよう改めて要請し、整備する施設については、市民が利用でき、市民の健康に寄与する交流施設として理解の得られる施設の管理を行うようにとの意見がありました。⑤ その他、市単独の補助金交付金に関して、抽出により内容を審査しました。活動状況が市民益につながっているのか、実績はどうか、新たな活動に取り組んでいるのか等、交付される団体の状況を鑑み、前例踏襲や慣例を見直し、その実績に合わせ補助、交付の有無、内容を精査する必要があるという意見が出ました。

全会一致で承認

平成28年度

一般会計決算

決算特別委員会 審査報告



決算特別委員会委員長
青木 周次議員

本委員会は、9月14日に付託された平成28年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について、各常任委員会の予備審査結果に基づき、9月26日に審査した結果、全会一致により原案を認定すべきものと決定しました。

今回は、議会改革の一環として議会活性化・議会のチェック機能の向上を図るため、決算審査について事業評価の手法を取り入れ各常任委員会において予備審査に取り組み、それを持ち寄った委員会審議となりました。

附帯意見

- 今後、地方交付税が次第に削減されることから、財源確保をはかり、更なる財政の健全化に努められたい。
湯の丸高原施設整備事業については、市民の負担にならないよう、充分配慮し、市民が利用しやすい施設にすることが望ましい。
一方多くの区から要望がでている生活道路の改良は、市民の安全のために行われる重要な事業であり、小規模土木事業の予算を大幅に確保されたい。
また、市単独補助金に関しては、長年の慣習に捉われずに、その団体の活動状況や、事業の有効性、効率性などを精査し必要な措置をとられたい。
- 地域包括ケアシステムの構築が喫緊の課題となっている。医療・福祉など関係部署の意識形成の段階から

- 一歩進め、また市民の健康保持・増進と医療費抑制のために健診受診率向上を目指し、各区等と連携しそれぞれの対策を進められたい。
- 親の働く環境の変化から未満児の保育需要は増大傾向にあり、今後の動向に留意し保育士確保のため、処遇改善や労働環境の整備に取り組まれたい。
- アレチウリのほかオオハンゴンソウ、オオキンケイギクなど特定外来植物の繁茂が見受けられ、在来植生保護のための取り組み強化が求められる。関係地域住民との協力を広げ、ていねいな情報提供、駆除への支援など効果的な予算措置をとられたい。
- 教育的支援の有無に関わらず全ての子どもが可能な限り共に学ぶ「インクルーシブ教育」を推進するため、学校の全職員と共に保護者や地域住民への周知・理解をすすめられたい。

賛成討論

平成28年度一般会計は、当初予算146億4200万円でしたが、その後9回の補正を経て、最終的には172億3699万円となり、前年度比6.7%増であります。

歳入決算額は160億6522万2千円。歳出決算額は154億2735万8千円。

繰り越し財源を控除した実質収支は4億7034万9千円の黒字となりその内2億3518万を財政調整基金に積みたて残り2億3516万9千円を29年度に繰り越しました。歳入ではふるさと納税が初めて1億円越えを果たしました。

平成28年度決算に関しましては、厳しい経済情勢が続く中、市内5保育園の人口芝化を終え、県・東深井線の建設・御堂地区の再開発・生ゴ

ミリサイクル施設の着工・田中小・滋野小のWC水洗化・湯の丸高原施設整備等多くの事業にとりくみました。

また、市税の収納率の向上に積極的に取り組み、更には経常経費の枠配分や、総合計画に重点政策をかけた、その施策の事業評価を行うなど、行財政の簡素効率化を図り、経費の節減合理化と限られた財源の有効活用への努力は文字通り評価に値します。

その結果として、市の財政健全化を示す実質公債比率が7.7%将来負担比率が54.2%財政力指数が0.498に経済収支比率が94.3%となっており、財政の安定化は確保されたものと認定いたします。

財政運営の執行に当たりましては、監査委員報告を念頭におき、財政の健全化と透明性を維持し、地域の活性化及び、市民福祉向上のために市政が継続して推進されることを要望し平成28年度一般会計決算の賛成討論いたします。



山浦 利通議員

決算審査報告

代表監査委員 北澤 昌雄

全事業を対象とした 費用対効果の検証を

決算の審査に当たり、歳入歳出決算書及び附属書・説明資料を中心に、担当者から説明を受け、質問、書類の閲覧、確認等を行い、慎重に審査を実施しました。

一般会計及び 特別会計決算審査

審査結果は以下の4点です。

公営企業会計決算審査

- ① 直面している厳しい社会情勢や市民ニーズ、行政需要の変化に的確かつ積極的に対応され、重点的、効率的な事務事業の執行に当たられており、住民福祉の充実に向かって順調に進捗していると認められる。
- ② 審査に付された書類等は基準に従い適切に作成されており、適正かつ良好である。
- ③ 財産の管理等財務に関する事務の執行においても、適正かつ適正である。

水道事業会計・下水道事業会計は、それぞれ独立採算制の趣旨に沿って予算編成がされ、設備の維持・修繕等の経費削減に努められた結果、平成28年度純利益金は前年度よりいずれも増加した。

病院事業会計は、病床稼働率は74.0%で、前年度に比べ9.5ポイント上昇し、同床規模の全国公立病院平均を上回った。また、入院収益の増加・経費削減などにより、4622万5000

円の当期純利益となり、剰余金も同額となった。

平成28年度末に策定された「東御市民病院新公立病院改革プラン」において示された市民病院としての課題克服および目的の実現に向かって病院一丸となって努力されることを望む。

定期監査の結果

通常妥当とする監査手続きや監査方法により総合的に判断した結果、概ね良好であり、財務に関する事務の執行及び経営にかかわる事業の管理について、否とする事項は存在しない。

しかし今回対象とした事項や通常の事務事業において昨年同様に「気づき」「気

配り」「気働き」の必要な事柄や、慣行・前例踏襲の打破等、改善や検討を要する事項が見受けられた。このことは課題に対しての改善に向けた取り組みが図られていない結果として捉え、今後、指摘事項に対しての進捗管理体制の構築が必要であると考えられる。

また、事務処理について、概ね法令や事務処理手順に従って処理がされているが、軽微な人的ミスが複数報告された。厳正的確な事務執行を心掛けるようにされた。

総括意見及び所見

少子高齢化及び人口減少が進む中、地方では首都圏

への一極集中化による若者減少や労働力不足が深刻化しており、地方自治体の基礎体力の低下という大きな課題に直面している。

本市においては総合計画を基本に、「東御市まち・ひと・しごと創生総合戦略」及び「東御市人口ビジョン」が策定され、施策の推進と財政の健全化の維持の両立にむけた取り組みが進められている。

歳入については、普通交付税の合併算定替の適用期間の終了に伴い、上乗せ分の減少が始まっていることや人口減少等の影響で市税等の自然増は見込めないことから、市税等収納率の向上及び自主財源・新たな財

源確保に努めていただきたい。

一方、歳出面については、公共施設等総合管理計画に基づく施設整備や総合戦略に関わる事業予算の確保、社会保障にも多額の経費を要することが予想される。今後も持続可能な健全財政を堅持するとともに、全事業を対象とした費用対効果の検証を進め、限られた財源から最大の効果を上げるよう、早急な取り組みが必要であると考えます。



第3回定例会 補正予算 総括質疑

湯の丸仮設プール整備 質疑集中



400mトラック側から見た仮設プール建設予定地

9月議会に提出された一般会計補正予算では、湯の丸高原施設整備推進事業として2億9,095万円（湯の丸高原荘改修2億2,000万円。高地トレーニング用仮設プール関連7,095万円）が計上され、大きな論議となりました。

湯の丸高原施設整備推進事業のゆくえ

湯の丸高原施設整備推進事業は昨年末から急激な展開をみせています。市は、競泳プールを中心とした国のトレーニング施設

建設致をめぐっていました。しかし、2020東京オリンピック・パラリンピックには間に合わないとして、市独自の事業として仮設

プールを建設する構想を打ち出しました。企業版ふるさと納税制度等で民間資金を活用し、市の財源を使わないとする考

えでの取り組みをめぐって、大きな議論となってきました。第3回定例会において

柳澤旨賢議員より「市の説明内容を整理する必要がある、採決を最終日に延期すべき」との動議が出され、全議員一致で関連議案の採決は9月29日に延期されました。

市内の企業を中心とした一般寄附は1000万円を上回っており、早く集めにきてくれという企業も多い。また市外からの個人版ふるさと納税も1億円を超えており、これらはかなりの金額になると考えている。市の財源を使わない約束だが、返済は、それらを償還原資として一般会計へ繰り入れ早期に決着させる。

湯の丸関連総括質疑

問 今回の補正は、実質体育館・仮設プールの工事開始予算となる。市長は、7月議会です工費にあてる13億円余について寄附金の状況を9月に示す、としていた。今回「お示しできず誠に申し訳ない」とお詫びした。現在の13億円余の見通し実態はどうか。また財源見通しが曖昧な事業推進は、一端立ち止まるべきと思うがどうか。

答 13億円余を9月議会にお示しして、事業に掛る債務負担行為をお願いする

問 議者として、確定財源のない予算承認はできない。

答 通常の企業では、理事会・取締役会等を経ての正式決定なので、不確定要素と表現しているが、代表者が社内手続きをとると明言しているものについて示した。民間資金の活用には、明確な答えがもたれているか、あるいは社内手続きの約束がある、それだけで本当に信用して良いのか、そうした側面がある。

現時点で示したものは確実なものとして予算計上したものだ。相手のあることなので国の指針に基づいて

問 補正財源として企業版ふるさと納税分1億円とある。財源に不確定要素がある。

答 3年間限定のふるさと納税で、現時点で確約のある企業12社から9780万円、社内手続き調整中の企業7社から5億5250万円、計6億5030万円が基礎。割り返すと、単年分として2億1600万円余となり、この中から1億円を補正計上した。

問 補正財源の中に地方債7870万円とある。これは市の会計から借りると

一般会計補正予算（3号）は可決（賛成10反対6）討論の内容

原案に賛成者の討論

中村眞一議員 湯の丸高原

荘改修により、未利用施設の解消となる。また現在進めている陸上関連施設が来年度供用開始となり、合宿等宿泊需要に対応する施設整備として必要な事業である。財源は企業版ふるさと納税など民間資金の活用で推進するとしているが、国から拠点整備交付金8750万円の支援が受けられることで、より確実な財源で事業を推進できる。

体育館内に仮設プールを建設する。東京オリンピック・パラリンピックの成功と東御市の地域振興に必要な施設である。地域の強い要望である体育館建設の実現に向けて、平成31年度までの時限制度である企業版ふるさと納税制度による民間資金を活用した事業推進は最良の方策であると認める。

提出された修正案は否決（賛成6反対10）

修正案の内容

歳入の寄附金1億2475万円を、6170万円に減額。湯の丸高原施設整備推進事業の体育館・仮設プール建設関連の歳出を削除。

理由 現時点で確実な寄附金の歳入見込みに対応して、歳出を見直すべきである。

修正案に賛成者の討論

若林幹雄議員 企業版ふるさと寄附金1億円のうち、寄附を約束されている企業が12社、総額で3260万円。一方、社内手続き中が7

社、1億8435万円に上り、取締役会などで決定しているわけではない。組織決定されていない寄附金を見込んで事業計画を立てることは、いかがなものか。財源不明のまま予算を通し、後日寄附が実現しなかったらどうするのか。一方、湯の丸高原荘の改修費用は、現在までに集まった企業版ふるさと寄附金の範囲内で賄うことが可能。体育館と仮設プールは、見込める財源がない。本予算から削除が妥当。予算措置ができたら改めて臨時議会を開催し対応すべき。

平林千秋議員 3つ指摘する。一つは予算計上の順序が通常と異なっている。市民説明会、パブリックコメントによる意見聴取、まちづくり審議会の審議承認、そのあとに事業計画を立てて予算化が通常である。原案は、パブコメ締切りが8月31日で9月1日に予算提出されている。次に、歳出に見合う歳入が担保されなければ予算を

組めないという原則に反している。仮設プール構想は全額企業版ふるさと寄附金などを充てる。9月補正時点で総額13億7千万円について、債務保証に足る原資の確保のめどが半分には届いていない。

最後に「高地トレーニング用プールは、一自治体が整備する性格のものではなく、国に施設整備をお願いする」としてきた市長の公約に反する。メダル量産のために市の独自事業で建設するのは、180度の転換である。

平成29年度 9月補正予算の主な内容

荒廃農地復旧対策事業補助金	1,809万円
商工業振興助成事業補助金	3,934万円
湯の丸高原施設整備推進事業費	2億9,095万円

湯の丸施設整備推進事業費の内訳概要

実施設計委託料	5,000万円
高原荘改修工事費	2億2,000万円
体育館用地整備工事費	1,000万円

※議決結果16が参照



一般質問QR

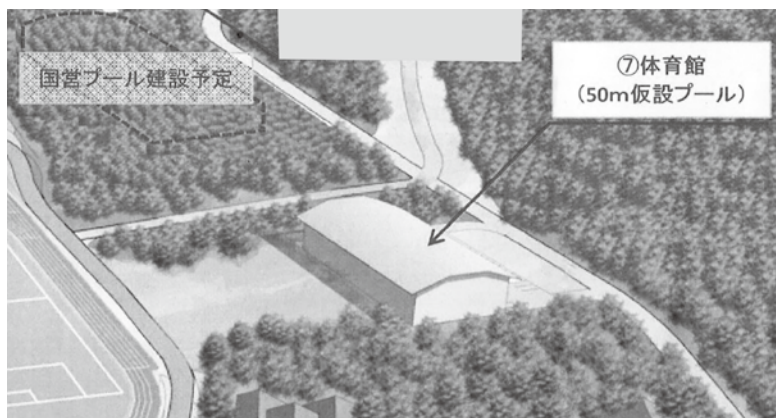
議員
11人

市政を問う

一般質問項目

- 佐藤 千枝**
 ●湯の丸高原トレーニング施設整備について
 ●誰もが健康で安心して生活するための取り組みについて
- 平林 千秋**
 ●湯の丸高原施設整備基本構想改定について
 ●国保の都道府県広域化について
- 横山 好範**
 ●農業振興について
- 阿部 貴代枝**
 ●東御市図書館、学校図書館の役割と活用は
 ●防災について
 ●子どもたちの環境について
- 山浦 利通**
 ●ふるさと納税について
 ●防災活動について
 ●県東深井線道路脇にできる駐車場について

- 田中 信寿**
 ●ひょう害対策について
 ●東御市版DMOについて
- 若林 幹雄**
 ●湯の丸高原高地トレーニング施設整備について
 ●市内一周駅伝大会によるまちづくりについて
 ●墓地公園の整備について
- 高森 公武**
 ●湯の丸高原施設整備に関するアンケートについて
 ●地域おこし協力隊について
 ●各区内の道路の点検について
- 高木 真由美**
 ●「地域共生社会」を目指して
- 窪田 俊介**
 ●子育て支援の連携について
- 依田 政雄**
 ●ICTを活用した学校教育環境の整備について
 ●湯の丸高原施設整備推進事業について



仮設プール位置図

- 問** 仮設プール構想は湯の丸高原施設整備基本計画の見直しにかかわり、パブリックコメントの市民意見を検討する暇もなく、まちづくり審議会の審議を経ないで予算化するのは基本手続を無視したものだ。撤回すべきだ。
- 市長** 貴重な意見に感謝したい。議会でご判断いただきたい。議会で見込みで事業着手し、もし欠損した場合どうするのか。
- 総務部長** 一般財源を支払いに充てる事が考えられる。補正予算で企業版ふるさと基金1億円としているが現状はどうか。
- 問** 補正予算の1億円、事業費全体についても歳入見通しが不確定で、予算編成の基礎を欠く。議会に提出するには尚早だ。
- 市長** 会社の決裁者が約束しているのが3250万円。残りの6750万円は現在検討いただいている範囲内。
- 問** 7月臨時会で、仮設プール事業費13億7000万円について9月議会で資金の全体を示すといった。
- 市長** 現時点では6億5000万円ぐらい検討いただいている。9月議会に満額を示せなかったことにお詫びを申し上げる。



イネのはぜ掛けに励む農業実習生

- 問** 平成30年度から米の直接支払交付金が廃止されるなど、米政策改革が行われるが、市の対応はどうか。
- 産業経済部長** 国の改革方針に基づき、農業振興を図る。大麦の栽培試験の結果を踏まえ、振興作目として定着を図る。大麦・大豆の二毛作により所得の向上と農作業の平準化を目指す。二毛作の実施により、水田活用の交付金を含め10㍗当り14〜16万円の収益となる。
- 農産物直売所について**
- 問** 多様な農業者が活用している、市内直売所の現状と支援体制はどうか。
- 産業経済部長** 農業者が活用している、市内直売所の現状と支援体制はどうか。
- 市長** 責任区分を明確にする中で、連携していく。要望の高い道路予算は小さくならないよう対応したい。



平林 千秋議員

- 問** 仮設プール13億円余の見通しが示されていない
- 答** 9月議会にお示しできずお詫びする



横山 好範議員

- 問** 米政策改革に対する市の対応はどうか
- 答** 大麦・大豆の二毛作などにより所得の向上を図る



今建設中の湯の丸高原トレーニング施設（平成29年10月1日現在）

- 市長** 現在集約中である。賛否はあるが約190人の市民からいただいた。市の方針を定め早急に広報等を通じ公表する。
- 問** 今回補正予算に計上された湯の丸高原荘改修に係る財源の詳細は。
- 市長** 企業版ふるさと納税による。約10社あり金額は約1億円。一般寄附見込みで1000万円。個人版ふるさと納税のうち1450万円を充当予定。今後は、日本水泳連盟にも協力を願う。
- 問** 仮設プール建設等施設整備に伴う企業版ふるさと納税の現状と今後の見通しはどうか。
- 市長** 約束いただけた企業は約10社あり金額は約1億円。一般寄附見込みで1000万円。個人版ふるさと納税のうち1450万円を充当予定。今後は、日本水泳連盟にも協力を願う。



佐藤 千枝議員

- 問** 湯の丸高原トレーニング施設整備に向けた資金調達の状況は
- 答** 企業版ふるさと納税による財源確保に努めている



ひょう害の跡が残るりんご

問 5月31日夜に発生した降ひょうによる被害に対しての市の対応はどうか。
産業経済部長 被害状況の確認と特別防除の緊急講習会を複数回行い、防除薬剤の購入費用への補助金を交付した。リンゴ、ブドウ等のひょう害果の販路の確保は、大田区の小中学校の給食へ

の利用やイベントでの特別販売の協力を得た。またふるさと納税返礼品、小中学校の給食利用、事業所での販売にも協力していく。
問 防ひょうネットの補助率アップは出来ないか。
産業経済部長 現在の補助率は10%であるが、近隣市町村の対応も勘案し、前向



田中 信寿議員

問 5月31日の降ひょう被害への市の対応は
答 薬剤費の補助を実施
ひょう害果の販路確保に努める

きに検討したい。

東御市版DMOについて

問 東御市版DMOのメリットと目指す観光の姿は
産業経済部長 地域資源を活用した観光地域づくりで、経済の活性化と移住定住人口の増加につながる。行きたいと感じる魅力や、サービスを提供する滞在型、体験型の着地型観光を目指す。

問 9月に立ち上げた（一社）とうみ観光協会と以前の観光協会との違いは。
産業経済部長 旅行業の免許が取得でき、独自の旅行商品の企画、募集ができる。

問 地域連携DMOへの取り組みはどうか。
産業経済部長 研究して参りたい。



地域みんなで選手を応援しています（東御市一周駅伝大会）

問 湯の丸高地トレーニング施設について市長は「市民の税金を使うことなくすべて寄附で賄う」と言ったが現状はどうか。

市長 3年間で9750万円の寄附が確定し、ほかに6億5千万円が検討中だ。
問 検討と確定は別ものだが、13億7千万円が集まらなければ事業は着手できない。
市長 9月議

会に間に合わなかったことをお詫びする。
問 日本水連さんは機関誌で東御市へのふるさと寄附を呼びかけたがどうか。
総務部長 ふるさと寄附は水連が呼び掛けてから若干増え9700万円となった。

問 東御市一周駅伝大会の現状はどうか。
教育次長 東部町時代昭和49年に9チームでスタート。ピーク時は35チームが参加し昨年は13チームだ。
問 見直す考えはないか。
教育次長 参加者を外から呼び込み運営を支える者の交流を図り、地域づくりにつなげていきたい。
問 墓地公園を整備する考えはないか。
市民生活部長 検討したい。



若林 幹雄議員

問 寄附が集まっていない中で、事業開始はできない
答 頑張って集めきる



阿部 貴代枝議員

問 小中学校の避難所開設訓練実施の状況と今後の取り組みは
答 訓練の位置づけと準備された
授業であれば支援したい

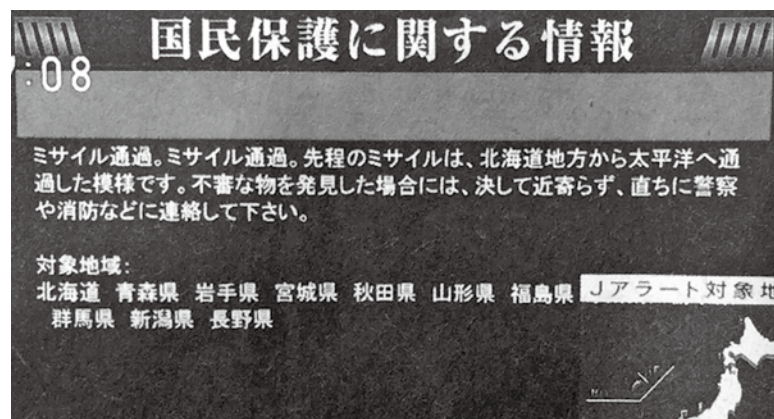
問 8月に田中小学校の児童が授業の一環で、防災キャンプを行い、避難所設営を体験。避難所とは、ということを理解し、良い経験

が出来たのではないか。他校でも出来ないか。
教育次長 今回のキャンプは、総合的な授業の一部で、事前学習に時間をかけて臨んでいる。宿泊のまとめの会で、行動の反省や改善点などの建設的意見が出された。防災を学ぶ効果は大きかったと感じている。訓練としての位置づけが明確で、しっかりと準備されている授業であれば支援していきたい。



田中小避難所開設訓練ダンボールによる風呂づくり

問 例年実施の防災訓練の中に、各区で避難所設営の訓練を行う推進は。
総務部長 モデル地区等による避難所開設訓練をローテーションで実施していくことも検討する。
学校図書購入費は
問 本を読むことは、子どもを成長させる。市内の学校図書館は専門の司書を配置し、よい環境だ。現在、一人800円の予算では、必要な購入ができていない。
教育次長 図書購入費については、児童生徒数、クラス数に応じて各校に配分。小規模校では、揃えなければならぬ高価図書は、購入に苦慮。来年度では、実態を調査し実情に合う予算配分を検討していく。



初めてのJアラート

問 湯の丸高原施設整備事業にあてら
企業版ふるさと納税
問 湯の丸

初めてのJアラート
ミサイル通過。ミサイル通過。先程のミサイルは、北海道地方から太平洋へ通過した模様です。不審な物を発見した場合には、決して近寄らず、直ちに警察や消防などに連絡して下さい。
対象地域：北海道 青森県 岩手県 宮城県 秋田県 山形県 福島県 群馬県 新潟県 長野県
回訓練を実施。投光機・簡易トイレ等は中央公民館第二体育館に備蓄しているが、それ自体の被災も考えられるので、分散して備えることも今後の課題である。
※その他 現在整備中の県・東深井線に新設される駐車場等について、不正使用のないよう要望しました。

問 災害時、一番の弱者である子供たちの日頃の学校での取り組みは、断水の際に水洗トイレにかわる機能は備えているのか。

教育次長 学校ごとに危機管理マニュアルを作成し、点検、防災にかかわる教職員の研修を実施、小学校は年4〜7回、中学校で年2

れる企業版ふるさと納税の現在の見通しは、集めきれない時の整備計画はどうなるのか。
市長 企業版ふるさと納税の性格上、現時点では予約という形になるが総額6億5千万である。市民との約束であるので全額集めきる覚悟でやるが、万が一の場合は規模を縮小するか、一時的に借り入れを起こすか、いづれにしても、ふるさと納税、一般寄附によって返済していく。



山浦 利通議員

問 小中学校での投光機・簡易トイレ等の防災設備は
答 現在設置していないが
研究課題である



窪田 俊介議員

問

市民病院の発達・ことばの外來の現状はどうか。
健康福祉部長 本年4月に開設した発達外來は、5カ月間で新規相談35件、2回目以降の相談15件を受け付けている。内容は自閉症スペクトラム障害がいや、注意欠如多動性障害などに関するものである。ことばの

答

発達障がいへの支援を
病院はどう考えるか
公立病院という立場において
今後も充実したい

外來は3年数カ月で新規相談が240件である。
問 学校との連携はどうしているのか。
病院事務長 受診結果の情報共有について、必要に応じて二つある。一つは、学校等関係者が受診に同行できる仕組みがある。保護者が同行受診の同意書を病院に

提出することで、診察室での同席が可能となる。二つは、関係者が受診に同行していない場合、保護者が医師に依頼すれば、返書という形で報告書を作成することができ。そのような形で受診結果を共有することが可能である。



依田 政雄議員

問

次期学習指導要領に、2020年に小学校におけるプログラミング教育が必修化となっている。どの様に行っていくか取り組みを

答

プログラミング教育とICTを活用した教育環境の整備を
学校現場のプログラミング教育への理解を深める

教育長 本年度から市教育委員会事務局と学校職員会との共催により、教師に対するのプログラミング導入研修を行っているところである。引き続き研修等を行い、学校現場におけるプログラミング教育への理解を深めたいと考えている。

ある。引き続き研修等を行い、学校現場におけるプログラミング教育への理解を深めたいと考えている。

市長 1つは、13億7000万円に関するめどをつけるという形の中で、意思決定が早い中小企業を回らせていただいた。10社から正式のコメントをいただいた。申請書類をまずやって、その過程の中でより多くの企業の皆さん方のご協力が得られるという状態に突入している。間違いないとお約束できるということである。今回の補正に関する財源に関しては、市税の一般財源を投入しないで、しっかりと対応できるということをお約束させていただく。



高森 公武議員

問

市長は説明会とき湯の丸高原トレーニング施設整備に関するアンケートをとった。各自で公民館に用紙を持ちにいき、

答

湯の丸の施設・整備・維持管理は
市税なしで本当にできるか
市税の投入はなしで
やっていけると認識している

投函するというやり方で市民の声を本当に聞く気があったのか。
総務部長 アンケートの調査は、実施していない。パブリックコメントのことで答える。無作為抽出した方からご意見をいただくアンケートは、手法が異なっており、多くの市民がパブリックコメントに参加し、できるものと考えている。

狭い市道の改修を
問 区内の道路で、カーブのところが狭く、通学路でもあり、早急な対応が必要だと思っどうか。
都市整備部長 認識している。PTAが主体となって点検している。各区の長期計画で要望してほしい。



高木 真由美議員

問

障がいをお持ちの方に対して理解を深めるための「あいサポート運動」の市の状況はどうか。
健康福祉部長 市におい

答

地域共生社会に向けての
これからの東御市の展望は
すべての市民が幸せに
生きていけるように努力する

でも、積極的にあいサポート研修を受講する機会を設けており、引き続き取り組んでいく。

現在、家族等から20件ほどの相談が寄せられており、生活支援や就職支援を行う中で、3人の方が就労を継続している。

問 生活困窮者の相談内容と改善の状況はどうか。
健康福祉部長 平成28年度の新規相談件数は、76件となっており、本人からの相談が最も多く、52件あった。相談内容は就職関連が最も多く、次に収入生活費、病気や健康、また障がいの順となっている。支援により20人の方が就職につながった。

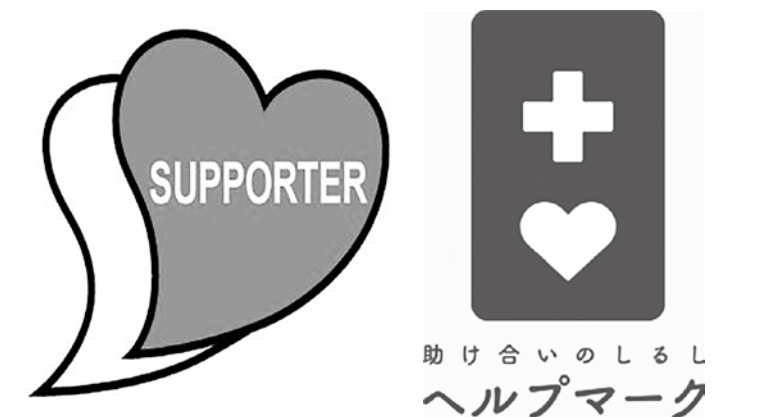
問 LGBTの方への学校での対応は。
教育次長 人権同和教育の中で、違いを認め合う力を育てる教育をしている。
※LGBTとは広く性的少数者の人たちを指す表現。



手前の森が仮設プール予定地

問 8月29日地元新聞に市長は、市税を使わなけれ

ば、反対している人にも納得してもらえと言っているが本音か。
市長 現時点において、私が首長をやっている間に、私は、市税の投入は、少なくともやっていけると認識している。寄附金等で運営可能な額だと思っている。



あいサポーターマーク(左)とヘルプマーク(右)

問 東御市の引きこもりの方の実態はどうか。
健康福祉部長

め、市民病院の発達外來の受診状況はどうか。
病院事務長 行政側との連携を深めながらスムーズな運用ができており、5ヶ月間で35名の新たな方が受診されている。

問 LGBTの方への学校での対応は。
教育次長 人権同和教育の中で、違いを認め合う力を育てる教育をしている。
※LGBTとは広く性的少数者の人たちを指す表現。



発達外來について報じる市民病院広報誌

発達障がいなどへのライフステージに応じた支援について、病院としてはどう考えるか。
病院事務長 健康福祉部、教育委員会、市民病院という3者による発達障がいのネットワークがある程度できたと思えている。採算のとれない診療だが、公立病院という立場において、行政との連携をとりながら、今後も充実したい思いである。



整備が進む湯の丸高原施設

湯の丸高原施設整備推進について
問 市民が

一番心配しているのは、施設整備の財源



東御市 第26回巨峰の王国まつりが9月16日～17日、東御中央公園で開かれました。

恒例の巨峰一房プレゼントには朝早くから列ができています。先着250名(2日間で500名)はすぐに定員になってしまいました。

実行委員長の花岡市長は「ひょうの被害や前日に台風がきたり、昨年より生産量は減りましたが糖度は18度以上あり甘く、おいしいです」と挨拶。

今年も、箱で幾つも買っていく人を多く見かけました。「年に一度は、東御市の巨峰を食べないと、秋がきたような気がしない」「毎年、巨峰祭りが来るのを楽しみにしている」などの感想も聞かれ、市内ばかりでなく、市外からも多くのお客さんが来てくださっています。

まつりが始まって一時間ほどで駐車場は満車になりました。「今年も実りの秋を迎えられた」と、そんな思いにかられる景色でした。



- ◆補正予算 4件
 - ◆平成29年度一般会計 (第3号・4号)
 - 4億3971万8千円、1933万3千円をそれぞれ追加し、総額は151億346万7千円となりました。
 - ※詳しくは8～9ページをご覧ください
 - ◆平成29年度介護保険特別会計(第1号)
 - 4962万円を追加し、総額は28億6662万円となりました。
 - 前年度介護保険給付費負担金の清算に伴う補正です。
 - ◆平成29年度工業地域開発事業特別会計(第1号)
 - 1億4000万円を減額し、総額は0円となりました。
 - 工事請負費の減額補正です。
- ◆条例の新設 1件
 - ◆東御市湯の丸高原スポーツ交流施設条例
 - 東御市湯の丸高原スポーツ交流施設の設置及び管理に關し必要な事項を定めるものです。
 - ◆条例の一部改正 3件
 - ◆東御市福祉医療給付金条例の一部を改正する条例
 - 長野県内の医療機関等で現物給付方式を実施するための改正です。
 - ◆東御市湯の丸自然学習センター条例の一部を改正する条例
 - 施設名称を「湯の丸高原ビジターセンター」とするほか、指定管理者制度を導入することに伴い必要な改正です。
 - ◆人権擁護委員候補者の推薦
 - 和の神津秀子さんの推薦について同意しました。

平成29年

第3回定例会で
可決・同意した
補正予算、条例等

第3回 定例会の提出案件の審議結果

採決結果:◎全会一致で可決、同意、承認○賛成多数で可決 ×否決

議案番号	案 件	採決結果	常任委員会審査結果	
			総務産業	社会文教
議案第52号	平成28年度東御市一般会計歳入歳出決算認定について	◎	—	—
議案第53号	平成28年度東御市国民健康保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎		◎
議案第54号	平成28年度東御市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について	◎		◎
議案第55号	平成28年度東御市地域改善地区住宅改修資金等貸付事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎		◎
議案第56号	平成28年度東御市工業地域開発事業特別会計歳入歳出決算認定について	◎	◎	
議案第57号	平成28年度東御市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算認定について	◎		◎
議案第58号	平成28年度東御市水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	◎	◎	
議案第59号	平成28年度東御市下水道事業会計利益の処分及び決算の認定について	◎	◎	
議案第60号	平成28年度東御市病院事業会計決算認定について	◎		◎
議案第61号	平成29年度東御市一般会計補正予算(第3号)	○	—	—
議案第62号	平成29年度東御市介護保険特別会計補正予算(第1号)	◎	—	—
議案第63号	平成29年度東御市工業地域開発事業特別会計補正予算(第1号)	◎	—	—
議案第64号	東御市湯の丸高原スポーツ交流施設条例	◎	◎	
議案第65号	東御市福祉医療費給付金条例の一部を改正する条例	◎		◎
議案第66号	東御市宮土地改良事業費分担金徴収条例及び県宮土地改良事業費分担金徴収条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第67号	東御市湯の丸自然学習センター条例の一部を改正する条例	◎	◎	
議案第68号	訴えの提起について	◎	◎	
議案第69号	人権擁護委員候補者の推薦について	◎	—	—
議案第70号	平成29年度東御市一般会計補正予算(第4号)	◎	—	—
陳情第10号	森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める陳情書	採択	採択	—
議員提出議案第5号	森林環境税(仮称)の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書の提出について	○		
議員提出議案第6号	道路整備事業に係る補助率等の高上げ措置の継続を求める意見書の提出について	◎		

常任委員会審査結果の「—」印は、委員会に付託されなかった案件です。

定例会の議決結果

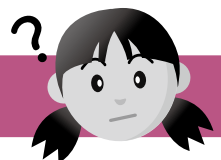
下記以外の議案等は、全会一致でした。

議 案 番 号	会派名・議員名 案 件	東翔の会					さわやかな風の会				太陽の会				日本共産党		公明党	
		横山 好範	柳澤 旨賢	青木 周次	佐藤 千枝	田中 信寿	依田 俊良	長越 修一	山崎 康一	中村 眞一	阿部貴代枝	若林 幹雄	高森 公武	山浦 利通	平林 千秋	窪田 俊介	依田 政雄	高木真由美
議案 第61号	平成29年度東御市一般会計補正予算（第3号）に対する修正案	●	●	●	●	●	/	●	●	●	○	○	○	○	○	○	●	●
	平成29年度東御市一般会計補正予算（第3号）	○	○	○	○	○	/	○	○	○	●	●	●	●	●	●	○	○
陳情 第10号	森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める陳情書	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○
議員提出 議案第5号	森林環境税（仮称）の早期創設及び林業の成長産業化と森林の適切な管理の推進を求める意見書の提出について	○	○	○	○	○	/	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○

本会議での各議員の賛否 (賛成「○」、反対「●」、議長「/」)

質問
Q

具体的にどのようにしたのですか



▲提出された決算書と
審査資料

A まず市側に、事業執行についてのよりくわしい資料の提出を求めました。

これまででは…

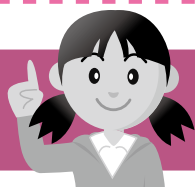
決算書(事業費の数字ばかり)、決算説明資料(全体の説明と主な事業の内容)

今回は!

28年度重点事業の「事業内容と課題」の説明資料。「総合計画進行管理・施設評価シート」を追加 ※右上写真

質問
Q

なるほど。豊富な資料をもとに市の仕事ぶりを審査するわけですね。それでどうなりました



A これまで常任委員会の審査は4日間でしたが、今回からは6日間になりました。初日に議員だけで資料をもとに重点的に審査する項目を決め、あらかじめ市側にまとめて答えることを求めました。担当課ごとに審議したわけですが、各議員も研究してきてかなり深い審議となりました。その結果を常任委員会の意見としてまとめました。

さらに決算特別委員会では、常任委員会の審査結果をもとに審議内容をまとめ、附帯意見を決め、市側に提起することにしました。

決算特別委員会の結論は、議会最終日の本会議に報告され、議会の意思として市側に示されました。具体的にイメージするため2つの事例を紹介します。

事例1 附帯意見例

生活道路改良へ小規模土木事業予算を大幅に確保されたい

9月議会の本会議審査でも問題になり、常任委員会審査で市民の切実な要望に市がこたえるべきだとの意見がかわされました。毎年の小規模土木工事予算は6000万円前後で、全67区の要望で対象になるのは20~30区に留まり、拡充が求められていました。

事例2 附帯意見例

特定外来生物駆除の取り組みを強化し効果的な予算措置をとられたい

オオハングソウなど駆除対象植物が新たに発見され議会でも問題になり、一部地域で住民の協力で取り組みが始まっています。専門的な知識と粘り強い取り組みが必要で、市に積極的な対応を求めています。

質問
Q

市民要望が前進するわけですね。市側はどうするのですか



A 市長は、議会閉会のあいさつで「附帯意見につきましては、施策を展開する中で、随時市政運営に生かしていく」と述べています。議会として、その具体化に注目していくことになります。

決算審査を充実 したんですって?

議会

Q&A

議会活性化で市政チェック機能の充実を目指しました。
審査結果を次の予算に反映させます。

9月議会では決算審査が大きな仕事です。議会活性化の取り組みの中で今度の議会から決算審査のやり方が大きく変わりました。
どう変わったのでしょうか。



質問
Q

決算審査とは
どういうことですか

A 市の仕事は各年度初めに、どういう事業をどのくらいのお金をかけてやるかを決めます。これが予算です。決算というのは、その事業が計画通りにいったのか、お金がどのくらいかかったのかをまとめたものです。9月議会に提出され、議会が市の仕事を審査します。今度の議会では28年度決算を審査しました。

質問
Q

審査のやり方を大きく変えた
というのはどういうことですか

A これまでは、昨年執行した事業が、どういう事業で、そのお金の使い方に関心があったか、無駄がなかったのかなどを中心に審査してきました。今回はさらに、市の事業を市民目線で点検・評価し、問題点、良かった点を把握し、次の予算に反映していくことに重点を置くようにしました。

決算審査の流れ

1

決算書の議会提出

決算説明資料、同付属資料、
総合計画施策評価シート添付

2

本会議で総括質疑

3

2常任委員会で予備審査

審査項目を絞り、関連資料の
提供を求め、重点的に審査

4

決算特別委員会審査

2常任委員会の審査をもとに
審議。附帯意見をまとめる

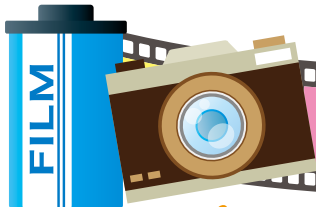
5

本会議で審議・採決

6

市が附帯意見にもとづき
次の予算に反映





若者フォーカス

東御市消防団【田中地区担当】

第一分団のみなさん

地域の安全をになって!!

今回は、消防小型ポンプ操法上小大会でみごと準優勝に輝いた、東御市消防団・第一分団、丸山貴弘分団長（39歳）山岸智之副分団長（38歳）以下各部部长6名、計8名の団員の皆さんです。

現在

東御市の消防団員は786名。うち第一分団は125名の大神帯とのこと。

まずはこの度の上小大会準優勝おめでとうございませう。勝因は？「もちろん日頃の訓練もありますが、分団の特徴でもある連帯感の強さだと思います」との分団長の弁。

現在の分団の課題は？

やはり新入団員の確保が難しく、辞めるに辞められず中には二回り目、三回り目に入った団員も多いです。二回り目とは入団してから部長の任期を終えて再び一般団員に戻って活動を始めること。入団適齢期の人のリストアップにも苦労しており、団員の確保が課題です。ぜひ地域の協力が欲しいです。

分団組織の再編について

あまり影響はないが、消防部のない城ノ前・白鳥台が加わることで、一人でも二人でも部員が増えれば大変嬉しいですね。

女性もいるそうですが？

常勤部と加沢部に一人づつおり、自分から積極的に入団し、今はラッパ班に所属しています。男世帯に女性が入り、華やかさもありますね。

消防団に入って良かったことは？

仕事との両立。時間の制約等大変な面もあるが、地域の安全を担うという使命感・団員どうしの横のつながりが、この後の長い人生にとって本当に宝物になるという実感が持てて良かった。

活躍

の機会が無い方っているが、過日の火災のおりには、地域の皆さんに認めてもらえ改めて消防団の存在の重要性を認識した。衆議院選挙があります皆さん関心は？もちろん



第1分団のみなさん

さまざまな課題に
悩みが尽きない▶



明日の東御市を拓く市議会◆あなたも参加しませんか…

議会傍聴へようこそ

第4回定例会における一般質問は

12月11日・12日に予定されています。

ご意見・ご感想

市議会だよりについて、ご意見・ご感想また、市議会へのご意見・ご要望もお受けしていますので、下記までお寄せください。

【発行・お問い合わせ】

東御市議会・事務局

〒389-0592 長野県東御市県281-2

TEL.0268-64-5810

FAX.0268-62-5040

広報委員

窪田 俊介	高森 公武
山浦 利通	平林 千秋
田中 信寿	横山 好範
高木 真由美	依田 俊良
中村 真一	

あとがき

改選を経て、新体制での広報編集も1年たちました。構成改善や新企画にも初年度のわりには取り組んでいます。実は、市報モニターの皆様アンケートに毎号協力して頂くという無理なお願いをしています。紙面をかりてお礼申し上げます。また、記事をお載せたいのでも実現していません。同時に議会広報モニター設置要綱が必要ではないか等の提言もいただき、次年度に向けて検討に入りました。いま、議会広報は「伝わる・市民目線の広報」から「つながる・住民と連携した広報」という潮流があります。当誌では「若者フォーカス」やモニターアンケートがその一つです。これからも、より良くなるよう取り組んでまいります。

窪田 俊介